

埋文やまがた



2009年11月30日

第43号



センター見学 山形聾学校



センター見学 霞城学園 生涯学習講座



センター見学 上山南小学校 6年生



上山市キャリアスタートウィーク（復元作業）



職場体験(洗浄作業) 県立上山高等養護学校



発掘体験(南口A遺跡) 余目第一小学校6年生

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ: <http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス: yac@yamagatamaibun.or.jp

県内9遺跡の発掘調査をしました

発掘調査事業

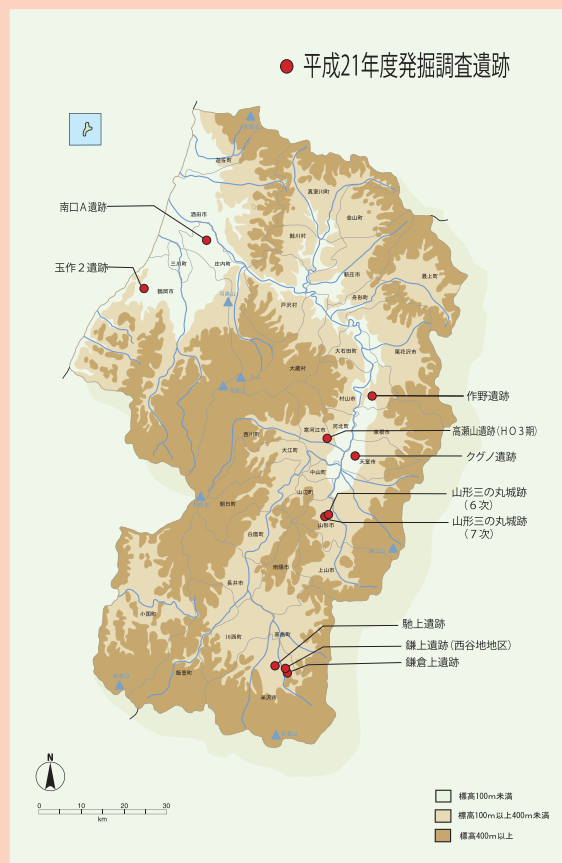
10月31日現在

今年度は、国土交通省・県農林水産部・県土木部・村山市から委託を受け、9件の発掘調査を実施しました。また、発掘調査の終了した遺跡は整理作業を行い、今年度は10遺跡の報告書を刊行します。

No	遺 跡 名	市町村	時代区分	種別	調 査 期 間	報告書の刊行
1	南口A遺跡	庄内町	奈良・平安	集落跡	5/13～9/16	平成21年度
2	玉作2遺跡	鶴岡市	古墳、奈良・平安	集落跡	5/11～8/7	平成22年度
3	作野遺跡	村山市	縄文	集落跡	6/9～7/29	平成22年度
4	クグノ遺跡	天童市	奈良・平安	集落跡	5/14～6/26	平成21年度
5	高瀬山遺跡(HO)3期	寒河江市	縄文、古墳、奈良・平安	集落跡	5/12～7/15	平成22年度以降
6	山形城三の丸跡6次	山形市	奈良・平安、中世、近世	城館跡	5/14～6/28	平成21年度
7	山形城三の丸跡7次	山形市	奈良・平安、中世、近世	城館跡	5/14～6/25	平成22年度以降
8	鎌倉上遺跡	米沢市	古墳、奈良・平安	集落跡	7/21～11/13	平成23年度以降
9	馳上遺跡	米沢市	古墳、奈良・平安	集落跡	5/12～11/20	平成23年度以降

整理作業

No	遺 跡 名	市町村	業務内容
1	上の寺遺跡(2次)	寒河江市	報告書作成・刊行
2	下大曾根遺跡	鮭川村	報告書作成・刊行
3	檜原遺跡	南陽市	報告書作成・刊行
4	百川田遺跡	南陽市	報告書作成・刊行
5	天王遺跡	南陽市	報告書作成・刊行
6	川前2遺跡	山形市	報告書作成
7	堤屋敷遺跡	米沢市	報告書作成
8	下屋敷遺跡	米沢市	報告書作成
9	矢馳A遺跡	鶴岡市	報告書作成
10	興屋川原遺跡	鶴岡市	報告書作成・刊行
11	岩崎遺跡	鶴岡市	報告書作成・刊行
12	川内袋遺跡	鶴岡市	報告書作成
13	行司免遺跡	鶴岡市	報告書作成



整理室から

こんにちは! ②

整理作業とは、遺跡で発掘された出土品の洗浄、注記、復元、実測などを行い、その記録したものを調査報告書にまとめる作業のことです。発掘調査の終了した遺跡から整理作業をはじめます。

土器の洗浄作業

出土品を洗う作業です



遺跡からもってきた土器は泥だらけで、バケツの水も真っ黒です。



洗い終えた土器は乾かします

注記作業

土器に遺跡名などをかきます



一文字ずつ
ていねいに
書きます



出土品の目立たないところに
遺跡名・見つかった場所など
を書きます。

土器の復元作業

ばらばらになっている土器を組み立てていきます



デジタルトレース

パソコンで図面などを描きます



土器の実測作業

土器の形や模様を実際の大きさに図面に描きます



出前授業アラカルト

埋蔵文化財センターでは文化財の普及啓発事業の一環として、小中学校などに
出前授業を実施しています。
詳しい内容は、センターホームページをご覧ください。 ホームページ：www.yamagatamaibun.or.jp



プレゼンテーション

プロジェクターを使って各時代の生活の様子を説明をします。



火起こし体験

マイギリを使用して火を起こします。苦勞してつけた火は格別です。



縄文クッキー作り

どんぐり粉、クルミなどを材料に縄文時代に食されていたクッキーを再現します。



土器や石器に触れてみよう

遺跡から出土した本物の土器や石器に触れることができます。身近な地域の遺跡から出土したものを展示します。



アングイン編み体験

古代の織り機で布を編みます。



弓矢体験

動物の的をめがけて弓矢の練習。
矢の先には布が巻いてあるので安全です。



勾玉づくり

滑石でオリジナル勾玉を作ります。
勾玉セットは学校でご準備ください。



縄文服で記念撮影

山形県埋蔵文化財センター参観デー やまがた埋文祭り2009



埋蔵文化財センターの仕事をまるごとお見せしようという企画「山形県埋蔵文化財センター参観デー～やまがた埋文祭り2009～」も今年度で2年目になりました。今年は2日間で1,000人を超える方が来場し、センターの仕事や出土品を見学したり、勾玉作りやアングイン編みなどを体験したりして大盛況でした。ご来場いただきました皆様誠にありがとうございました。



開場前から多くの来客で行列ができました。



遺跡から見た「天地人」展



土器の発掘体験



土器に記名する注記体験



土器の復元体験



土器の模様を写し取る拓本体験



土器の形を書き写す実測体験



保存科学の部屋



今年度発掘した遺跡の速報展



縄文土器と一緒に記念撮影



勾玉作り



古代の織物 アングイン編み



弓矢飛ばし



弓矢の的

山形県埋蔵文化財センター参観デー (やまがた埋文祭り2009)

期 日：平成21年10月3日(土)・4日(日) 午前9:00～午後4:00

会 場：山形県埋蔵文化財センター

内 容：今年度発掘した9遺跡の調査速報会

・整理作業体験及び見学

注記体験・拓本体験・実測体験

保存処理・スタジオ埋文・特別収

蔵室・パネル展示・かし展示

・考古学広場 (勾玉作り・アングイン編み・体験弓矢)

参加者：3日(土)551名 4日(日)603名 合計1,154名



発掘調査速報会 今年度発掘調査した9遺跡の報告会を行いました。



2009年度 発掘調査トピックス

発掘された三の丸堀

山形市 山形城三の丸跡第6次調査



堀の発掘作業の様子です。すべて人の手で丁寧に掘っています。

山形城は、14世紀後半に^{しばかねより}斯波兼頼がその基礎を築いたと言われるお城です。山形市のほぼ中央にある本丸・二の丸跡は、現在霞城公園として親しまれています。三の丸跡は、この本丸・二の丸を取り囲む東西約1,600m、南北約1,800mの大きな範囲です。

調査した場所は山形市旅籠町で、三の丸跡の北東隅に当たります。今回の調査で、今まで正確な場所が分かっていなかった、三の丸を囲む堀を確認することができました。堀跡は幅約9m、深さは約5mで、東側の岸には、崩れないように石組で土留めがされ、何度も修理した跡がありました。また、堀の西側には^{どるい}土塁が築かれていたと考えられる場所も確認されました。

堀跡の中からは、江戸時代の中期～後期を中心とした出土品が、たくさん見つかりました。主に碗や皿などの陶磁器類ですが、お金や煙管、子どものおもちゃなども見つかっています。



発掘された堀跡です。幅9m、深さは5mで、崩れないように石で土留めされています。



堀跡の東岸で見つかった土坑です。^{うるし}漆塗りの^{わん}碗などが出土しました。

出土品



唐津焼の^{かめ}甕



茶碗



泥めんこ・さいころ（玩具）

縄文時代の貯蔵穴群と、他地域との交流を示す土器

村山市 作野遺跡

作野遺跡は、縄文時代の後期末～晩期（約3,000年前）の遺跡で、県内でも有数の拠点集落といわれています。

遺跡は、昭和50年代に宅地造成のため市や県教育委員会・山形大学によって度々調査が行われ、範囲は約100m以上の大きな集落跡であることが確認されています。

今回の調査は、遺跡の最も東側の山際で、標高が高く扇状地の最頂部付近にあたります。そこから十数基の貯蔵穴群や、竪穴住居跡1棟（晩期後）などが発見されました。また、これまでの調査から県内では数少ない当時の集落構成を知ることができます。扇状地扇中央部の広い台地上に小型の竪穴住居群が造られ、その外側の扇頂部の標高の高い地に、貯蔵穴群が集中して構築されたようです。

出土品では、貯蔵穴の中から完形の注口土器や深鉢が単独で置かれた状態で出土し、祭祀などに使用されたものと考えられます。土器の中には、関東地方などの文様と類似性のあるものも出土したことから、他地域との交流がうかがえる貴重な資料となりました。



貯蔵穴群の集中域（北から）



貯蔵穴の完掘半状況（西から）



注口土器（関東地方の文様に類似する）



注口土器（福島県の文様に類似する）



土偶（頭・手足が欠損。左胸と腹部が剥落）



狩猟具・加工具（矢じり・石やり・石錐・石べら・石さじ）

秘宝館

茶道具 (桃山時代～江戸時代)

かめがさきじょうあと
亀ヶ崎城跡 (酒田市)

織部向付



瀬戸美濃
天目茶碗



漆器天目台



中国産 茶入



漆器小壺



かめがさきじょう
亀ヶ崎城は初め、酒田城あるいは東禅寺城とも呼ばれ、隣接する酒田湊を抑える重要な城でした。慶長8年(1603年)最上義光の時代、縁起が良いといわれる鶴亀にちなんで酒田城を「亀ヶ崎城」、鶴岡市にあった大宝寺城を「鶴ヶ岡城」と名前をかえました。

現在の亀ヶ崎城は、本丸、二の丸に県立酒田東高等学校が建ち、周囲は住宅地となっています。学校敷地の一角に残る土塁に、当時の面影を見ることができます。平成16・17年、校舎の建て替えに先立って発掘調査が行われました。

調査では、戦国時代末期の上杉氏の領地であった時代、亀ヶ崎城に鉄砲の弾が運び込まれたことを示す木の札(木簡)や国内外で生産された焼き物、茶道具、宴会で使われた漆器や箸、まな板やすりこぎなどの調理器具、櫛や下駄など様々な生活用具が見つかっています。また、タイやヒラメ、イルカの骨なども出土し、「天地人」で有名な直江兼続も訪れたであろう城での生活の様子をうかがい知ることができます。特に、天目台(茶碗をのせる台)は全国的にも出土例が少なく貴重な発見です。

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。
なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301(代表)

編集後記

10月3日(土)・4日(日)のセンター参観デー(埋文祭り 2009)には、1,000人を超える方においでいただきました。また来年度もよろしくお願い致します。ご来場ありがとうございました。